

行財政改革の 取り組みについて

市では、少子高齢化などの影響から扶助費の増加が著しく、大変厳しい財政状況が続いています。

「夢と希望の持てる元氣なまち」の実現に向けては、財政規律を保持し自治体としての経営目標を掲げ、身の丈に合わせた財政運営に努めていく必要があります。

現在、次の3つの行財政改革の取り組みを進めています。

① 財政健全経営計画
「財政健全経営計画」は、現行の行財政改革基本方針・アクションプランの次期計画と

に、同会議から委員を選任し、外部評価を加えた取り組みを進めています。外部評価結果は、各担当課の考え方を付記し、市ホームページなどで公表していきます。

③ 行財政改革アクションプランへの追加プラン

行財政改革を停滞させない取り組みとして、26年度から「ネーミングライツの導入」「教育センター運営の見直し」「特別会計繰出金の抑制」「職種任用替えの拡大」などを実施しています。

② 行政評価制度の深化
これまでの「事務事業評価」

26年全国消費実態調査に ご協力をお願いします

この調査は、国が統計法に基づき5年ごとに実施する重要な統計調査で、国民の暮らし向きを統計の面から総合的に捉え、所得・消費・資産の水準や構造を明らかにすることを目的として、9月～11月の3カ月間にわたり、全国で実施します。

調査対象世帯は「単身世帯は9月中旬から」を調査員が訪問し、2人以上の世帯については3カ月間、それぞれの家計簿の記入などをお願いします。



調査方法は7月中旬から調査員が調査地域の世帯確認のために訪問し、世帯主の氏名などをお尋ねします。8月中旬から選定された2人以上の世帯の中から、統計的な方法に基づいて選定された2人以上の世帯員から成る世帯と、単身の世帯

25年度住民基本台帳の 閲覧状況を公開します

25年度中の住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況を、市民課で公表します。

詳しくは市民課 ☎ 470・7722へ。

「第3次地域福祉計画 (素案)」に関する ご意見を募集します

27年度以降10カ年を計画期間とする「第3次地域福祉計画」の素案がまとまりました。

「意見提出方法」7月18日

ライジングサン

市長 並木克巳

4コママンガの「来芽ちゃん」一家にも注目？！していただいたこのコラム、ど

地域の防災訓練に参加して

先日開催された「二小避難合同防災訓練」のご報告です。地元自治会が主催し、近隣自治会も協力、東久留米消防署や消防団第2

震度7レベルの地震を体験

実践的であり、地域の方の顔が見え、つながることも期待できます。市としても災害対策を強化しているところですが、お一人おひとりが関心を高め、積極的に取り組んでいただくこと、地域の底力を発揮するため、地域との関係性を深めることが重要です。それぞれの地域の特性を生かす

「地域支え合いフォーラム 『あなたが、その手をさしたとき』を 考える」を開催します

「第3次地域福祉計画(素案)」の紹介を兼ね、「地域支え合いフォーラム」を開催します。

介護保険料決定通知書の お知らせ

26年度の介護保険料決定通知書を7月中旬にお届けします。

市税などの納付に ご協力ください

7月31日(木)は、固定資産税・都市計画税第2期、国民健康保険税第1期、後期高齢者医療保険料第1期の納期限です。



コンビニスを利用できるように、国民の皆さんで支え合っていく制度です。本人だけでなく、家族の負担も軽くするために、市の方針を踏まえて、65歳以上の方の保険料が、約5分の1を支えています。